

令和2年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員会 会議録

日 時 : 令和2年11月25日(水) 11:00~11:55  
 場 所 : 東別館9階特別中会議室  
 出席者 : (推進委員会委員) 出席8名、欠席2名 ※別紙のとおり  
 (事務局) ICT推進室長、他2名  
 会次第 : 1 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

議事概要 : 以下のとおり

発言者	発言内容
<b>【会次第1】鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「資料1-1」に基づき説明</li> </ul>
委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">質疑応答</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査期間のことについて、期間が1ヶ月に満たないということで、それが回答率約半分ということにつながっているのか、それとも、もともと前回も前々回も同じぐらいの回答率だったのか。</li> <li>もう少し調査期間が長かったら、回答率が少し上がったりとかするとかいうことはなかったか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回も28年の8月に、ひと月間で調査し、1,664件ほどの回答をいただいている。今回の、1,784件回答率51%につきましては、統計的にも誤差の少ない形での数値かと思い、十分調査結果として足るものというふうに考えている。</li> <li>調査期間を延ばしたとしても、ポツポツ来るような感じになってしまい、それほど回収率が伸びるような見込みはないと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収率はどうだったか、前回と同じぐらいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい、回収率は前回と同じぐらいでした。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>だいたい夏、8月ぐらいにやっていたか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい、前回も8月に実施した。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういう意味では同じ1ヶ月間で、比較ができるようなデータになっているかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、回答率が尋常ではなく高いと思っている。一般にこういったアンケートで、5割も回答されていると、意識が高いと思う。あと感じたのは、60代以上が非常に高く、理由としては、時間があり、若い人達とはまた違った意味でコンピューターに触れる方が増えてきて、こういった調査に興味があったのでは</li> </ul>

発言者	発言内容
	<p>ないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震豪雨などの災害についての意見回答が多かったが、コロナがちょうど増えてきている状況で、身近な問題に行政がどのように対応してくれるか、というのを皆さん期待していると思う。インターネット等を通じて情報収集している人が、だいぶ増えてきているような気がし、市民のひろばとか紙媒体はもちろんだが、インターネットも利活用してほしい。</li> <li>以前はインターネット利用率が上げられない要素というのが、インフラの中にあっただが、それは今、解決の方に向かっているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの整備については、令和元年度から2年度にかけ、光ブロードバンドの整備を行っている。これにより光回線は、世帯カバー率99%以上になる予定である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢の方の回答率が高いので、アンケートに対する意識が、年齢でだいぶ差があると感じる。</li> <li>以前は、鹿児島は遅れているという雰囲気があったが、今は誤差の範囲ぐらいの数値で増えてきているので、鹿児島市も大都市に近づいてきているのではと感じた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを市の広報などで活用ということについては、今年から鹿児島市も公式LINEを開始した。</li> <li>回答率については、高齢の方の回答率がよくて、働く世代が低いというような傾向が出ているようである。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の調査は、ガラケーからスマホに変わる時期だったが、今回は、完全にスマホが圧倒的シェアを持っている状況での調査だった。資料の1-2、18ページ図表3-9では、30代を境にして全然行動パターンが違うというのが分かり、33ページ図表5-4と見比べると、スマホ世代とガラケー世代で使い方に差はあるが、必要としている情報は同じという結果も見られた。</li> <li>ごみ問題への関心が高いことから、ブロードバンドが普及し、生活に必要な情報を求める傾向が如実に現れていることも見られた。このような点を、市の計画に反映してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンが普及し高齢の方の所有も増えてきたが、私個人では地域公民館で高齢者向けにスマートフォン講座を行っている。その中で、市公民館や地域福祉館でWi-Fiが利用できればという意見があった。</li> <li>LINEでごみ分別の問い合わせが可能だが、市提供アプリの「さんあ〜る」でも同様の機能があり、混乱するという声もあった</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>せっかく高齢化で、教育する支援をやっているのだから、考えていただければと思う。</li> </ul>

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fiは、観光施設へ整備を行っているが、関係部局へ伝える。また、「さんあ〜る」とLINEで同じような機能があり、混乱するという件についても、同様に伝える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災関係でも、ハンディWi-Fi等が必要になる場面もあるかと思うので、そういうところも検討してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のアンケートは、市民の方々の生活と密接しているスマホ保有率などが、目で見られる形で反映されてり、調査していただいてありがたいなと思った。</li> <li>企業のPRでもSNSが利用されてきているので、個人だけではなく、企業へもアンケートを行ったら面白いのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向けについては、次回調査等に向けて検討してみたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生中学生もスマートフォンや情報機器を持つ時代になっており、子供向けのアンケートも検討してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のアンケートでも、お子さんのいらっしゃる世帯向けのアンケート項目はあるが、子供へ回答を求める設問は無い。教育委員会の方でも、調査をしているため、そちらと連携して検討してみたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供専用の情報通信機器の保有率が増えているが、具体的にどのような機器を想定しているか。</li> <li>小学校高学年以上であれば、アンケートへの回答が可能ではないか。</li> <li>今後のオンライン授業のことを考えると、児童や生徒がいる世帯の光回線普及状況を確認することや、光回線が無い世帯のために、市公民館や地域福祉館でWi-Fiが利用できると望ましい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の想定については、タブレット型端末やインターネットに接続できる家庭用ゲーム機といった大きなくくりを想定しており、具体的な機種や端末を想定していない。</li> <li>小学校高学年へのアンケートについては、教育委員会の調査でも保護者のみを対象としているようなこともあり、次回調査等に向けて考えてみたい。</li> <li>各家庭のインターネット回線についても、教育委員会の方へ伝える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代とかでは、非常に大事な点だろうと思います。次回、必ず何かしらのデータを出していただければと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のアンケート対象ではない、80歳以上へのアンケートも検討してほしい。</li> <li>コロナの関係で企業からの相談が増えたが、市のホームページやLINEでも事業者支援向けの情報を分かり易くしてほしい。</li> </ul>

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80歳以上向けのアンケートについては、次回調査等に向けて考えてみたい。</li> <li>・ 事業者向けの支援情報を分かり易く伝えてほしいということについては、事業課へ伝えたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まではデジタルデバインドで、光回線の問題等に取り組んできたが、これからは、人の問題かもしれないというふうに考えている。高齢者向けアンケートや事業者向け情報発信については、検討をお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回のアンケート結果では、年代別の要望もあり、校区のまちづくりでも活かそうである。</li> <li>・ 70代でごみの問題への関心が高いが、今年から開始された剪定枝の回収も影響していると思われる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22ページの図表3-16のように、「インターネットを利用して感じる不安や不満」では、「個人情報の保護に不安がある」があがっている。鹿児島市でもLINEや色々な方法で市民と情報共有するのは有意義だが、個人情報の情報管理は徹底してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セキュリティについては、気を緩めることなく対応していきたいというふうに考えており、それを踏まえて情報化を進めていきたい。</li> </ul>

## 【別紙】

## 令和2年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員名簿

令和2年11月2日現在

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	ハギノ マコト 萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授	
2	副委員長	モリ クニヒコ 森 邦彦	鹿児島大学 学術情報基盤センター	センター長	欠席
3	委員	カイ カオル 甲斐 薫	特定非営利活動法人 鹿児島インファーマーション	会員	
4	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	講師	
5	委員	カマタ カオリ 鎌田 香	公共財団法人かごしま産業支援センター	よろず支援拠点コーディネーター	
6	委員	タキガワ ノリヒロ 瀧川 憲洋	公募委員		
7	委員	タナカ ミキヤ 田中 幹也	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長	欠席
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役社長	
9	委員	フジヤマ ナツキ 藤山 菜月	公募委員		
10	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	

※50音順(敬称略)